
約束の木の下。

万里

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

約束の木の下。

【Nコード】

N1763K

【作者名】

万里

【あらすじ】

別れが訪れ、再会の約束をした。この木のが成長して、再会のとき。

「じゃあ、ね」

寂しそうに彼女は言う。またね、と私も手を振る。

彼女は去っていく。

「元気でな！」

笑顔で彼は言う。うん、と私はうなづく。

彼は去っていく。

小さな木の芽を植えた。

「木が成長して大きくなった時、それが再会するとき」

遠く遠くに小さくなっていく影が目に残っていた。

あれから長い長い時間が過ぎる。

あの頃と変わらない風景。一つ変わったのは、坂道を登るのがつらくなった。

上りきって、私の目に映ったのは、緑色の葉を揺らす大きな木だった。

「逢いたかったよ・・・」

名前を呼ばれた気がして振り向く。

そこには、あの頃の遠く遠くに消えていった影があった。

いつのまにか大きくなっていた影と、大きな木の下で笑いあった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1763k/>

約束の木の下。

2011年1月16日04時45分発行